

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE ROAD

2026年
夏号
vol.49

INDEX

- ◆ 令和8年度事業計画の概要
- ◆ おむつ選びの専門家になってみませんか
- ◆ パラスポーツフェスティバル
- ◆ りはみんサロン(2026年3月)
- ◆ 募集・事業所案内

事業団公式マスコットキャラクター
りはみん



発行：季刊オレンジロード編集委員会



社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団

令和8年度 事業計画の概要

基本方針

令和8年度の事業計画が、3月25日に開催した第117回理事会において承認されました。

障害のある方を取り巻く生活環境や支援ニーズが一層高度化・複雑化する中、令和8年度は障害のある方がおののけに望む地域や社会において、安心して生活を継続するための支援体制を充実させていくことが、これまで以上に求められています。また、昨今の物価高騰や人材確保の困難化も続くと思定され、法人運営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中、事業団は名古屋市の外郭団体としての公的な役割を担いつつ、民間事業者のみでは対応が困難な高次脳機能障害者支援、視覚障害者支援、重度・重複障害者支援、制度のはざまにある課題への対応など、専門性と継続性を要する分野において中核的な役割を果たしていきます。

また、本年4月の高次脳機能障害者支援法の施行を踏まえ、これまで培ってきた専門的知見と実践を基盤に、医療・福祉・保健・就労支援機関等との連携体制を深化させ、相談支援機能の充実、人材育成、普及啓発の推進を通じて、この地域における高次脳機能障害者支援の中核施設として、地域全体の支援力向上に一層貢献していきます。

一方で、名古屋市により開催された「今後の名古屋市総合リハビリテーションセンターのあり方検討に係る懇談会」における意見などを踏まえて市が示す今後の方向性について、事業団としての対応を検討しつつ、引き続き利用者さま確保に係る積極的な広報活動、経営の効率化など、経営改善への取り組みにも努めていきます。

以上を踏まえ、令和8年度の事業展開にあたっては、次の事項を重点事項として取り組みます。

1 高次脳機能障害者支援法施行への対応

これまでと同様に高次脳機能障害者への支援拠点として、地域支援力の向上や地域ネットワークづくりなどの役割を担いつつ、名古屋市や愛知県との調整を密に図り、相談支援機能の強化、医療・地域連携体制の構築、就労・社会参加支援

の充実、普及啓発などに寄与できるよう、体制整備・事業拡充に努めていきます。また、法に定める高次脳機能障害者支援センターの指定に向けての準備も進めていきます。

2 次期指定管理に向けた準備・検討

指定管理期間延長の2年目に入り、名古屋市による「今後の名古屋市総合リハビリテーションセンターのあり方検討に係る懇談会」における意見なども踏まえて示される今後の方向性に留意しながら、令和10年度からの次期指定管理の事業内容や人員体制等について事業団としての考えをまとめていく重要な時期になります。

引き続き、この地域の障害者リハビリテーションにおける中核的な役割を担い、行政が行うべきとされる事業や障害者およびその家族、地域住民の方に求められるようなサービスを提供し、事業拡充や新たな事業展開等も提案していけるよう今後の方向性について検討していきます。



3 医療機関との連携強化

令和7年度においては、利用される方にとって必要な支援・サービスをシームレスに提供できるよう、随時、名古屋市および名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院(以後、市大リハ病院)と連携に係る調整を行ってきました。障害福祉分野では報酬改定などにおいて、医療・福祉の連携強化や地域共生社会のさらなる推進が求められており、引き続き市大

リハ病院をはじめ関係医療機関との連携について強化・調整に努めていきます。

また、市大リハ病院とは、防災体制や庁舎管理等の面においても、連携・協力が必須であり、名古屋市を含め密に調整を行っていきます。



4 経営戦略計画（初年度）の推進

令和8年度は、新たに策定した第6次経営戦略計画(令和8年度から令和10年度まで)の初年度にあたります。第5次経営戦略計画の取り組み状況や課題を踏まえて戦略計画や目

標の見直しを行い、各部門における具体的な成果指標を掲げています。組織全体および各部門において、着実に目標を達成できるよう計画の推進に努めていきます。

5 バリアフリー整備相談支援事業の推進

令和7年度から受託したバリアフリー整備相談支援事業に関する事務局業務について、引き続き名古屋市と調整のうえ、当事者団体との適切かつ有意義な意見交換の場を設定するなど、当事者団体や関係者の信頼と理解を得ながら丁寧に受

託業務を遂行していきます。また、そこで得た情報の蓄積・活用などにより、この地域におけるバリアフリーの推進に寄与できるよう努めます。

6 人材確保と人材育成

少子高齢化の進行による人材不足・労働力不足が、年々深刻化している中で、事業団が質の高いサービスを提供し続けるためには、人材の確保と人材育成が重要な課題となっています。

事業団が求める良い人材を確保できるよう、部門間で連携して戦略的・計画的な広報に努めるとともに、就職説明会・職

場見学、1日体験や実習の充実を図り、就職フェアへの参加、的を絞った広報等、採用広報に力を入れていきます。

人材育成については、令和8年3月に策定した新たな人材育成基本方針と令和8年度人材育成計画のもと、職員一人ひとりが向上心と意欲をもって業務を遂行できるような取り組みを実施することで成長を促進し、組織力を強化していきます。

7 広報

事業団においては、これまでもウェブサイトや広報誌、X、Instagram、YouTubeなどのSNSを活用し、広報活動に力を入れてきました。令和8年度は令和7年度にリニューアルした紹介動画やリーフレットを活用して、事業団の専門性や取り組

みを周知するなど、積極的な広報活動を行っていきます。また、事業団ウェブサイトについても、閲覧者の方に必要な情報が分かりやすく提供でき、広く多数の方に閲覧していただけるよう充実に努めます。

おむつ選びの 専門家に なってみませんか



演習 いろいろなおむつの特徴を知ろう!

「種類が多すぎて、何を選べばいいの?」「漏れないようにするには?」大人用おむつの悩みは、本人や家族だけで抱え込みがちです。名古屋市では、市の養成研修を修了した販売店のスタッフなどを「おむつ選びの専門家」として認定しています。身体の状態、生活リズム、介護する方の負担に合わせ、サイズや形、当て方、交換のタイミングまで一緒に考える身近な相談役です。

おむつが合わないと、漏れや肌トラブル、夜間の不安、外出控えにつながり、本人の自信や家族の安心にも影響します。そんな時は、のぼり旗やステッ

カーのある薬局・ドラッグストア等で気軽に声をかけてください。日々の買い物の場に相談できる専門家がいたことは、困りごとの早期発見にもつながります。

また「おむつ選びの専門家」は販売店スタッフだけではなく、介護サービス事業所や病院などの医療機関の方も活躍されています。



訪問看護ステーションでも「のぼり」を掲げてPR



さらに、なごや福祉用具プラザの排せつケアヘルプデスク*では、電話相談に加え、必要に応じて自宅や施設への訪問相談、課題解決の提案も行っています。出前講座では、軽失禁パンツやパッドの紹介、排せつ予防体操などもお伝えし、地域の学びを広げています。お店の専門家が悩みを受け止め、なごや福祉用具プラザの専門相談へつなぐことで、排せつで困っている市民の暮らしを地域で支える大きな力に

なります。おむつを“売る”“介助する”だけでなく、生活全体を考える専門家へ。あなたの知識と温かいひと言が、誰かの「安心して暮らす」を支えます。

あなたも一歩を踏み出してみませんか。

※注:ヘルプデスクとは

おむつの販売店や介護サービス事業所の職員を対象に対応方法や課題解決に向けた助言を行う相談窓口です



身体は重し
歩くのがつらい...

高齢者疑似体験:移動編



高齢者疑似体験:トイレ編

片手でズボンを
脱ぎはきするのは大変!



演習 福祉用具体験

令和8年度 養成研修日程

日程

- ※締め切りました
- ① ~~6/5金・6土~~
 - ② 7/11土・12日
 - ③ 8/13木・14金
 - ④ 11/28土・29日

※研修は各回2日間の日程ですが、初日はe-ラーニングでも受講可能です

受講料無料!

お申し込み、
お問い合わせはこちら



認定後は名古屋市公式ウェブサイトやリーフレット等で店舗(事業所)名を市民の方へお知らせします。

お問い合わせ

高齢者排せつケアコールセンター

☎ 052-746-1180

受付時間 火曜～日曜日 10:00～18:00(年末年始・祝休日除く)





体験用の小さい
ポッチャコート



ゴールが
高い…



みなさんも
楽しんで!

パラスポーツ フェスティバル

広く市民への理解促進・普及啓発を図ることを目的に、たくさんの方が集まるショッピングモールにて「パラスポーツフェスティバル」を開催しました。

日時

2026年1月24日(土)
10:00~18:30

会場

イオンモールナゴヤドーム前 1階イベントスペース
(セントラルコート、ノースコート、サウスコート)

内容

ステージイベント

- ゲスト
- 猪狩ともかさん(アイドルグループ 仮面女子)
 - ドアラさん(中日ドラゴンズ球団公式マスコット)
 - 小笠原道大さん(元プロ野球選手)

ノースコート

車いすバスケットボール体験

全体

パラスポーツスタンプラリー

サウスコート

● ポッチャ体験

● 競技用義足体験



今回はセントラルコートで4ステージを行い、2階からの立ち見客が出るほどの大盛り上がりでした。

年齢や性別、障害の有無に関係なく、約1100名の皆さまに体験やステージイベントにご参加いただきました。



りはみん
サロン報告
(2026年3月)

認知症予防のための 食事習慣とコグニサイズ

を開催しました

3月3日(火)に、令和7年度4回目のりはみんサロンを開催しました。当日は、近隣の12名の方にご参加いただきました。

講座「第1部:認知症の予防のための食事習慣」として ●**認知症とは?** ●**研究からわかってきた脳が元気になる食べ物** ●**脳を守る食べ方**を中心に、食後高血糖を予防する食べ方、水分摂取の必要性、バランスのよい食事、基礎代謝を落とさないよう摂取カロリーを基礎代謝以上にし、消費カロリー以下(肥満予防のため)にすることなども含めてお伝えしました。

続いて「第2部:コグニサイズ」として、名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院の理学療法士から、認知症予防に向けた運動について ●**運動は認知症予防の効果があるのか?** ●**どんな運動がいいのか?** ●**コグニサイズを体験**の講義と、実際に身体を動かしてみる体験があり、左小指と右親指、左親指



と右小指を交互に素早く突き出す動作や、立って足踏みしながら5の倍数で足をたたくなど、座ってできるものと立って行うもの両方を体験していただきました。頭を使いながら身体を動かすのは、簡単なようでなかなか難しい場面もありましたが、慣れてくるとできるようになっていきました。頭を使いながら身体を動かす体験は、皆さま楽しまれて好評でした!ご自宅でも取り入れやすい運動だと思います。



認知症予防に向けた
運動について講義



頭を使いながら
身体を動かす…大変!



私たちと一緒に
働きませんか

事業団職員 大募集



現在募集中

嘱託職員

嘱託(パート)職員を募集中です。
下記二次元コードで
募集案内をご覧ください。

正規職員

詳細は、下記二次元コードをご覧ください。

随時募集中
です!

職場見学
大歓迎

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
総務部総務課 採用担当
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集
についてはこちら



嘱託職員募集
についてはこちら



事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式X(旧Twitter)

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式
→ @nagoya_rehab

事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話:052-835-3811 FAX:052-835-3745

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話:052-703-6633 FAX:052-704-8370



なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話:052-851-0051 FAX:052-851-0056



- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0811

名古屋市瑞穂区北原町3丁目2番地 ジュネス瑞穂1階

電話:052-680-7111 FAX:052-680-7626

- ・熱田区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター しんおとう

〒456-0018

名古屋市熱田区新尾頭一丁目6番10号

第15フクマルビル1階

電話:052-228-3630 FAX:052-228-3631